

人生の最終段階における医療・ケアに関する当院の方針

1. 患者様ご本人の意思を大切にします

当院では、人生の最終段階を迎える患者様が、住み慣れた場所でその人らしく安心して過ごしていただけるよう、患者様ご本人とご家族の意思を尊重した医療・ケアの提供に努めております。

2. 多職種で支援を行います

医療・ケアの内容につきましては、患者様ご本人の意思を最も大切にしながら、医師・看護師・訪問看護師・介護関係者など多職種で十分に話し合いを行い、方針を決定いたします。

3. 繰り返し話し合いを行います

患者様のお気持ちやご希望は、病状や時間の経過により変化することがあります。そのため当院では、患者様・ご家族との話し合いを繰り返し行い、その時々のお気持ちを大切にされた支援に努めます。

4. ACP(人生会議)を大切にしています

当院では、患者様が今後どのような医療やケアを希望されるかについて、患者様・ご家族・医療介護関係者が繰り返し話し合う「ACP(アドバンス・ケア・プランニング:人生会議)」の考え方を大切にしております。

5. 患者様にとって最善の医療・ケアを検討します

患者様ご本人が意思を伝えることが難しくなった場合には、ご家族等と十分に話し合い、患者様にとって最善となる医療・ケアについて検討いたします。また、身体的苦痛のみならず、精神的・社会的側面にも配慮しながら、安心して療養生活を送っていただけるよう支援いたします。

6. 当院の指針について

当院は、厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に基づき、「適切な意思決定支援に係る指針」を策定しております。詳細につきましては、「適切な意思決定支援に係る指針」をご参照ください。

2022年5月策定
伊東内科小児科医院